

第 V 部 調査票と単純集計結果

調査期間 令和2年9月11日～10月5日
 標本設計数 3,000 有効回収数(率) 1,699 (56.6%)
 * 「n」は、質問に対する回答者数の総数を表す。
 「-」は、回答者が皆無であることを示す。
 ※比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、
 合計が100%にならないことがある。

令和2年度(2020年) 神奈川県『県民ニーズ調査』(第1回課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

【アンケートのテーマ】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 食・食育 | 8 3R |
| 2 食の安全・安心 | 9 プラスチックごみ削減に向けて |
| 3 神奈川県の農林水産業 | 10 職業能力開発 |
| 4 とともに生きる社会かながわ | 11 犯罪被害者等への支援 |
| 5 男女共同参画 | 12 治安対策 |
| 6 神奈川県の人権 | 13 ねんりんピックかながわ |
| 7 SDGs(持続可能な開発目標) | |

◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、封筒のあて名のご本人様にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前、ご住所の記入は不要です。
- お答えは、直接、この調査票のあてはまる番号を○で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

- ▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、10月5日(月)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入も必要ありません。)
- ▼ **インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。**

【お問合せ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

- **問合せフォーム** (10月5日までの期間限定)
 県民ニーズ調査HP (<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)
 の下部に掲載している「令和2年度調査対象者」向けお問い合わせフォーム
 から送信してください。
- **電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)**
 ※ 受付時間：月～金 8:30～17:15(土日祝日は閉庁)

食・食育

問1 「食育」※に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 関心がある	37.0	4 関心がない	4.4
2 どちらかといえば関心がある	37.3	5 分からない	4.6
3 どちらかといえば関心がない	12.7		(無回答 4.1)

※食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

【複数人でお住まいの方のみお答えください】

問2 朝食・夕食を同居の方と一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ)

【朝食】 (n=1,452) (%)

1 ほとんど毎日	47.4	3 週に2～3日	14.5	5 ほとんど食べない	22.9
2 週に4～5日	4.5	4 週に1日程度	7.4		(無回答 3.4)

【夕食】 (n=1,452) (%)

1 ほとんど毎日	63.4	3 週に2～3日	13.8	5 ほとんど食べない	6.3
2 週に4～5日	9.6	4 週に1日程度	3.3		(無回答 3.6)

【一人暮らしの方のみお答えください】

問3 昼食・夕食を仲間や友人など、複数で一緒に食べていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

【昼食】 (n=209) (%)

1 ほとんど毎日	7.7	3 週に2～3日	10.0	5 ほとんど食べない	54.5
2 週に4～5日	9.1	4 週に1日程度	8.6		(無回答 10.0)

【夕食】 (n=209) (%)

1 ほとんど毎日	6.2	3 週に2～3日	6.7	5 ほとんど食べない	62.2
2 週に4～5日	2.9	4 週に1日程度	12.9		(無回答 9.1)

【全員の方がお答えください】

問4 歯と口の健康を保つために気をつけていることは何ですか。 (○はいくつでも)

(n=1,699) (%)

1 歯みがきをしている	95.1	6 かかりつけ歯科医を決めている	50.6
2 鏡を見て歯と歯肉のチェックをしている	24.1	7 年に1回以上、歯科検診を受けている	37.2
3 糸つきようじや歯間ブラシを使っている	53.6	8 その他	1.6
4 食べ物をよく噛むように意識している	21.7	9 特になし	1.6
5 顔や舌の体操(「健口体操」など)をしている	5.9		(無回答 1.9)

問5 いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など食事のマナーを正しくできていると思いますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 できていると思う	32.3	4 できていないと思う	7.7
2 どちらかといえばできていると思う	44.7	5 分からない	3.1
3 どちらかといえばできていないと思う	10.4		(無回答 1.9)

問6 主食・主菜・副菜を組み合わせた健康的な食事内容を心がけていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 心がけている	75.5	2 心がけていない	14.1	3 分からない	8.2
(無回答 2.2)					

問7 就寝前2時間以内に食事をとらないよう気をつけていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 気をつけている	60.2	2 気をつけていない	34.2	3 分からない	3.6
(無回答 2.0)					

問8 ゆっくりよく噛んで食べていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 食べている	14.4	4 食べていない	10.4
2 どちらかといえば食べている	39.1	5 分からない	2.9
3 どちらかといえば食べていない	31.2	(無回答 2.1)	

問9 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 気をつけている	51.8	3 あまり気をつけていない	5.0
2 ある程度気をつけている	39.8	4 分からない	0.6
(無回答 2.8)			

食の安全・安心

問10 食品を購入する際に、確認している表示内容がありますか。(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 期限表示(消費期限や賞味期限)	89.4	5 食品添加物(保存料や着色料など)	35.3
2 原産地や原産国	67.9	6 保存方法	32.1
3 アレルギー表示	8.8	7 遺伝子組換え食品に関する事項	25.1
4 原材料名	28.5	8 その他	1.9
(無回答 2.8)			

問11 食中毒を予防する上で重要なことがらについて、知っていることを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 食品を購入したら寄り道せずに帰宅する	48.1
2 食品を保存するときは、冷凍庫や冷蔵庫を活用する	91.5
3 調理や食事前によく手を洗う	79.1
4 生肉や生魚を扱った調理器具は、使用後に消毒する	49.6
5 調理した食品はすぐに食べるようにし、残った食品は速やかに適切な温度で保存する	72.7
6 生肉は、食中毒を起こす細菌がついていることがあるので、よく加熱する	74.0
(無回答 2.1)	

問12 食品を安全に食べるために、必要な知識(例えば、調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど)を持っていると思いますか。(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 持っていると思う	40.4	3 あまり持っていないと思う	8.2	5 分からない	1.9
2 ある程度持っていると思う	46.6	4 持っていないと思う	1.1	(無回答 1.8)	

神奈川県の農林水産業

問 13 県の農林水産業を活性化する上で、「地産地消」※の取組みを重要だと思いますか。

(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 重要だ	45.3	4 重要ではない	1.6
2 どちらかといえば重要だ	40.1	5 分からない	9.0
3 どちらかといえば重要ではない	2.7		(無回答 1.2)

※「地産地消」とは、地域の需要に即した生産を行い、その産物を地域で消費するための取組みのことをいいます。

問 14 農林水産物を購入する際に、何を重視しますか。(○は3つまで) (n=1,699) (%)

1 鮮度	81.5	4 栄養	9.2	7 価格	59.4
2 外観	8.6	5 安全性	43.3	8 ブランド(知名度)	2.1
3 味	24.1	6 産地	26.4	9 その他	0.1

(無回答 7.2)

問 15 「かながわブランド」という言葉の意味を知っていますか。(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 知っている	21.0	2 言葉は聞いたことがある	40.3	3 知らなかった	37.4
---------	------	---------------	------	----------	------

(無回答 1.4)

県と生産者団体で構成する「かながわブランド振興協議会」では、組織的な生産・出荷基準によって品質を確保するなどの要件を満たした農林水産物やその加工品を「かながわブランド」として登録しています。

問 16 県の農業に特にどのような役割を期待しますか。(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 食料の安定供給	19.8	6 美しい風景や文化の継承	2.3
2 安全・安心な食料の供給	47.7	7 働く場の提供	1.9
3 価格の安い食料の供給	9.5	8 その他	0.6
4 災害時の避難場所など安全な空間の提供	1.7	9 分からない	1.7
5 自然や土とふれあう場・学習の場の提供	2.8		(無回答 12.0)

問 17 今後、県の農業をどのようにしたらよいと思いますか。(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 県が農業を振興すべき	71.9	4 その他	2.8
2 外国や他の都道府県にまかせればよい	0.8	5 分からない	17.1
3 市場競争に強い農業者だけが続ければよい	5.9		(無回答 1.6)

ともに生きる社会かながわ

県では、ともに生きる社会かながわの実現をめざし、2016年10月にともに生きる社会かながわ憲章を定めました。

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



問 18 ともに生きる社会かながわ憲章を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 知っている	6.1	2 言葉は聞いたことがある	16.8	3 知らなかった	75.6
(無回答 1.5)					

【問 18 で「1 知っている」または「2 言葉は聞いたことがある」とお答えの方に】

問 18-1 ともに生きる社会かながわ憲章を何で知りましたか。 (○はいくつでも) (n=389) (%)

1 ポスター・チラシなど	44.2	6 新聞	11.3
2 県・市町村の広報誌(県のたよりなど)	57.8	7 ミニコミ誌・タウン誌	8.7
3 県からの送付物(納税通知など)	7.7	8 職場・学校	10.3
4 ホームページ	5.4	9 地域のイベント・お祭り	2.8
5 SNS※	0.8	10 その他	2.6

※SNSには、例えばLINE、Instagram、Twitterなどがあります。 (無回答 1.5)

【全員の方がお答えください】

問 19 身近で障がい者と接する機会がありますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 ある	31.7	4 以前はあったが今はない	13.0
2 あまりない	39.9	5 分からない	1.1
3 以前も今もまったくない	12.9	(無回答 1.4)	

問 20 5年前と比べて障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思いますか。 (○は1つ)(n=1,699)%

1 増えたと思う	13.4	4 どちらかといえば増えていないと思う	6.1
2 どちらかといえば増えたと思う	31.5	5 増えていないと思う	9.6
3 どちらともいえない	24.0	6 分からない	14.2
(無回答 1.3)			

問 21 障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。 (○は1つ)(n=1,699)%

1 あると思う	39.3	3 あまりないと思う	9.7	5 分からない	6.3
2 少しはあると思う	40.7	4 ないと思う	2.7	6 その他	0.1
(無回答 1.3)					

問 22 手話について学ぶとしたら、どのような方法で学びたいですか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 手話講習会	28.1	4 本・DVD	6.1	7 学びたいとは思わない	10.4
2 手話サークル	8.5	5 テレビ番組	8.1	8 その他	0.2
3 インターネット	17.9	6 学校教育	7.5	9 分からない	8.9

(無回答 4.4)

問 23 「ともに生きる社会かながわ」の実現のため、障がいの程度にかかわらず、あらゆる人が文化芸術活動を楽しむためには、どのような取組みが有効だと思いますか。(〇はいくつでも) (n=1,699)

1 障がい者のみが参加・出演するイベント等の開催	4.4
2 障がい者に限らず、あらゆる人が参加・出演できるイベント等の開催	68.2
3 自宅や病院等から鑑賞できる公演の開催	27.9
4 鑑賞しやすい環境の整備(字幕表示や車椅子席の設置等)	56.5
5 その他	1.1
6 分からない	5.9

(無回答 2.8)

男女共同参画

問 24 夫婦共に働く家庭では、育休※はどちらが取得した方がよいと思いますか。(〇は1つ)
(n=1,699) (%)

1 夫のみ	0.1	5 どちらも取得しない方がよい	1.4
2 妻のみ	6.7	6 どちらともいえない	13.2
3 同時期に取得した方がよい	27.7		(無回答 4.9)
4 交互に取得した方がよい	46.1		

※育休とは、「育児・介護休業法」に基づき子どもが1歳(一定の場合最長2歳)に達するまで申出により取得できる「育児休業」のほか、育児のために企業等が独自に定めた「育児休暇」などを含みます。

【問 24 で 1～4 のいずれかをお答えの方に】

問 24-1 育休はどのくらいの期間取得したらよいと思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)
【妻について】 (n=1,368) (%)

1 5日未満	0.1	5 3か月以上6か月未満	8.5	9 24か月以上	6.0
2 5日以上2週間未満	0.7	6 6か月以上12か月未満	16.7	10 分からない	7.5
3 2週間以上1か月未満	3.4	7 12か月以上18か月未満	12.2		
4 1か月以上3か月未満	7.0	8 18か月以上24か月未満	9.6		(無回答 28.3)

【夫について】 (n=1,368) (%)

1 5日未満	2.1	5 3か月以上6か月未満	14.9	9 24か月以上	2.0
2 5日以上2週間未満	6.4	6 6か月以上12か月未満	10.3	10 分からない	9.0
3 2週間以上1か月未満	11.6	7 12か月以上18か月未満	3.2		
4 1か月以上3か月未満	20.5	8 18か月以上24か月未満	2.3		(無回答 17.5)

【全員の方がお答えください】

問 25 夫婦の一方が無職(専業主婦・夫)の家庭では、育休を取得した方がよいと思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

【妻が無職(専業主婦)の場合、夫について】 (n=1,699) (%)

1 取得した方がよい	56.3	2 取得しない方がよい	11.2	3 どちらともいえない	29.4
					(無回答 3.2)

【夫が無職(専業主夫)の場合、妻について】 (n=1,699) (%)

1 取得した方がよい	62.0	2 取得しない方がよい	8.2	3 どちらともいえない	25.5
					(無回答 4.3)

問 26 制度上は男女共に育休を取得できるにもかかわらず、男性の育休取得が進まない原因は何だと思いますか。 (○は3つまで) (n=1,699) (%)

1 仕事の代替要員がない	38.7	5 収入が減る	40.4
2 取得できる雰囲気職場がない	66.5	6 固定的性別役割分担意識※が社会に根強い	21.8
3 取得すると昇進・昇給に悪影響が出る	26.7	7 自分が取得する必要がないと思う人が多い	16.5
4 前例が少ない	25.9	8 その他	2.0

(無回答 5.7)

※固定的性別役割分担意識とは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」というような性別によって固定的に役割を分けて考えることです。

問 27 男性が積極的に育児にかかわるために、どんなことが必要だと思いますか。 (○は3つまで) (n=1,699) (%)

1 定時退社の奨励	23.9	6 育児に役立つ商品やサービス	3.1
2 フレックスタイム制※や時差出勤の活用	24.5	7 夫婦や家族間でのコミュニケーション	24.9
3 在宅勤務の活用	29.7	8 育児の講座や情報提供	4.9
4 男性の育児に対する職場の理解	59.4	9 男性の意識改革	42.3
5 休暇制度の充実	26.4	10 その他	2.7

(無回答 5.2)

※フレックスタイム制とは、一定の期間についてあらかじめ定めた総労働時間の範囲内で、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることのできる制度です。

神奈川県の人権

問 28 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 そう思う	40.6	2 そう思わない	19.2	3 どちらともいえない	36.6
--------	------	----------	------	-------------	------

(無回答 3.6)

問 29 普段身近に感じたり、最近気になっている人権課題は何ですか。 (○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 子どもの人権	28.1	6 同和問題	3.2	11 特になし	9.2
2 女性の人権	26.5	7 インターネットにおける人権問題	44.3		
3 障がい者の人権	30.6	8 性的マイノリティの人権	19.6		
4 高齢者の人権	18.6	9 医療従事者・患者などの人権	31.7		
5 外国人の人権	22.1	10 その他	3.1		

(無回答 7.4)

問 30 人権課題を解消するために、力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。

(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 学校などにおける人権教育	71.0	4 差別的表現などの規制	36.9
2 冊子の配布やイベントによる啓発活動	14.9	5 その他	4.9
3 相談体制の充実	41.1		

(無回答 8.5)

問 31 人権教育・啓発活動のうち、力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。

(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 学校、企業での研修	76.2	4 各種イベントでの啓発	24.1
2 リーフレットの作成・配布	8.6	5 ラジオ・テレビ広告	36.6
3 インターネット(ホームページやSNS)を活用した啓発	34.3	6 その他	2.2

(無回答 9.3)

SDGs (持続可能な開発目標)

問 32 SDGs (エス・ディー・ジーズ) という言葉を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 知っている	22.0	3 知らなかった	61.2
2 言葉は聞いたことがある	13.5		(無回答 3.2)



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015年9月にすべての国連加盟国が全会一致で採択した2030年までに持続可能な世界(将来の世代のための環境や資源を壊さず、今の生活をより良い状態にすること)を実現するための開発目標です。

【問 32 で「1 知っている」または「2 言葉は聞いたことがある」とお答えの方に】

問 32-1 県のSDGs 関連のイベントや、普及啓発の取組みを何で知りましたか。

(○はいくつでも) (n=604) (%)

1 県のたより	23.7	6 市町村の取組み	7.5
2 県のホームページ	4.0	7 SDGs パートナーなど企業の取組み	20.7
3 テレビ・ラジオなど県の広報番組	21.2	8 SDGs つながりポイント事業	1.5
4 イベントでのPR	6.8	9 その他	10.9
5 チラシ・ポスターなど県の普及啓発物	16.9	10 知っているものはない	23.8

(無回答 1.5)

【全員の方がお答えください】

問 33 SDGs 達成に向けて、日常生活で取り組めることがたくさんありますが、どのような取組みを行いたいと思いますか。

(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 食事は残さず食べる	68.5	6 相手を思いやる	53.7
2 食・運動・社会参加により未病改善を行う	39.1	7 使い捨てより長く使えるものを選ぶ	51.0
3 使っていない電気はこまめに消す	53.9	8 ビーチクリーン活動などに参加する	11.7
4 買い物にはマイバッグを持参する	62.8	9 その他	1.9
5 できるだけ公共交通機関を利用する	29.0	10 取り組みたいと思わない	1.2

(無回答 2.8)

3R

問 34 3R※を推進する上で、県民一人ひとりが取り組むべき行動は何だと思えますか。(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 ペットボトルのラベルとキャップの分別を徹底する	56.0	6 詰め替え用商品を選ぶ	49.5
2 家庭でのごみの分別を徹底する	74.0	7 リサイクル素材の製品※を使う	20.2
3 レジ袋を使わない	38.8	8 3R について理解を深める	28.5
4 食べ残しや買い過ぎをしないように気をつける	65.9	9 その他	1.7
5 マイボトルを持ち歩く	31.8		(無回答 3.4)

※3Rとは、リデュース(排出抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)のことです。

※リサイクル素材の製品とは、環境への配慮がされた素材を使用した製品のことで、例えば、エコマークなどが付いた製品が挙げられます。

問 35 企業活動も含め社会全体でごみの3Rを進めるため、県に期待する役割は何ですか。(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 ごみの分別の徹底を市町村と連携して推進	32.8	4 統計データの提供	5.5
2 企業や団体と連携したリサイクルなどの取組み	36.0	5 その他	1.5
3 広報の充実など県民への意識啓発	9.2	6 特にない	3.0

(無回答 11.9)

プラスチックごみ削減に向けて

問 36 海洋プラスチックごみ問題を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 知っている	84.0	3 知らなかった	2.7
2 言葉は聞いたことがある	11.1		(無回答 2.2)

海洋プラスチックごみ問題とは、海洋に流出したプラスチックごみが長期間にわたり環境中にとどまることで、生態系、生活環境、漁業、観光等への悪影響が懸念される問題です。全世界で年間数百万トンを超えるプラスチックが海洋に流出していると推計されています。

【問 36 で「1 知っている」とお答えの方に】

問 36-1 まちで発生したプラスチックごみが、河川を通じ、海へ大量に流れ込んでいることを知っていますか。 (○は1つ) (n=1,427) (%)

1 知っている	93.4	2 知らなかった	6.3	(無回答 0.3)
---------	------	----------	-----	-----------

【全員の方がお答えください】

問 37 リサイクルされないプラスチックごみを削減するため心がけていることはありますか。 (○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 プラスチックごみの分別を徹底する	80.3	5 海岸や地域の清掃活動を行う	11.5
2 ワンウェイプラ※をできるだけ使わない	19.0	6 その他	1.2
3 代替素材※を使った製品を積極的に購入する	26.2	7 特になし	4.0
4 ごみ問題に取り組む企業の製品を購入する	15.5		(無回答 7.0)

※ワンウェイプラとは、レジ袋、食品トレイなどの使い捨てプラスチックのことです。分別できないワンウェイプラが増え、リサイクルされる割合が変わらなければプラスチックごみが増えることになります。

※代替素材には、紙や木材のほか、微生物の働きで分解する生分解性プラ、植物や微生物由来の物質で作るバイオマスプラがあり、環境負荷が小さいといわれています。

問 38 海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて一人ひとりが行動するうえで、何が必要だと思いませんか。 (○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 海洋汚染の影響や原因を知る	55.0	6 ごみ問題に取り組むことへのイメージアップ	15.6
2 解決のための具体的な取組みを知る	40.3	7 行政や企業が率先して取り組む	35.1
3 ごみ分別や不法投棄の規制や取締を強化する	50.1	8 その他	2.5
4 子どものころから環境学習を積極的に行う	63.8	9 分からない	1.4
5 ごみの分別を習慣づける	67.7		(無回答 6.3)

職業能力開発

問 39 就職や仕事に役立つスキルとして、身に付けたい知識や技術、技能は何ですか。(〇は3つまで)
(n=1,699) (%)

1 機械(機械加工技術、機械CADなど)	5.8
2 溶接(ガス溶接、アーク溶接など)	1.6
3 自動車(自動車整備など)	3.4
4 電気(電気工事、電気制御、電気保守など)	7.6
5 電子(電子機器組立、電子回路など)	5.0
6 情報(プログラミング、システム開発など)	32.4
7 建築(建築CAD、内装・インテリア、造園、建築設備など)	9.8
8 デザイン(Webデザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザインなど)	15.1
9 介護(介護実務、介護調理など)	16.6
10 調理(介護調理を除く一般調理)	14.7
11 経営(法務、財務、労務管理など)	21.3
12 事務・経理・オフィス技能(簿記、OAスキルなど)	30.5
13 その他	3.5
14 特になし	14.2
15 分からない	6.3

(無回答 5.9)

問 40 (再)就職時、求職活動前にどのくらいの期間でどの程度職業能力開発を行うことが望ましいと思いますか。(〇は1つ) (n=1,699) (%)

1 1か月位で基本的な知識、技術・技能	10.6
2 3～4か月位で基本から応用まで一通りの知識、技術・技能	26.6
3 半年～1年位で確実な知識、技術・技能	21.8
4 1年を超える長期間で専門的な知識、技術・技能	4.5
5 職業能力開発は必要だが、期間・内容は分からない	23.2
6 職業能力開発は不要	0.9
7 その他	1.5

(無回答 10.9)

問 41 (再)就職するために職業能力開発を行う場合、どのような条件が備わっているとよいと思いますか。(〇は3つまで) (n=1,699) (%)

1 受講期間中の生活保障	54.8	7 ニーズに合った開催時期	20.2
2 受講料が安い	46.1	8 土・日、夜間に受講できる	27.1
3 1日あたりの受講時間が短い	3.8	9 企業実習がある	18.8
4 通所時間が短い	11.0	10 その他	0.7
5 在宅で受講できる(e-ラーニング※など)	18.5	11 分からない	5.5
6 託児施設が用意されている	13.2		

(無回答 7.0)

※e-ラーニングとは、パソコンなどの情報機器やインターネットを活用した学習のことです。

問 42 在職者のための職業能力開発について、今後、県が重点的に取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。 (○は3つまで) (n=1,699) (%)

1 現在持つ知識や技術・技能のレベルアップ支援	54.1
2 研究機関・大学と連携した高度な技術などの習得支援	21.1
3 ビジスマナーなど働くときに必要な基礎的知識の習得	24.0
4 管理監督者の能力を高めるための支援	15.2
5 職種転換※に役立つ新たな技術・技能の習得	32.8
6 退職後に役立つ資格や技術・技能の習得	39.7
7 その他	0.9
8 分からない	10.5

(無回答 5.8)

※**職種転換**とは、同一企業内で労働者をこれまでの職種とは異なる職種へ配置を換える人事異動のことです。

問 43 今後、県はどの世代の職業能力開発を重点的に取り組むべきだと思いますか。 (○は1つ) (n=1,699) (%)

1 若者(34歳以下)	34.2	4 高齢者(65歳以上)	10.5
2 就職氷河期世代※(35~44歳)	21.3	5 その他	1.9
3 中高年齢者(45~64歳)	15.2	6 分からない	10.8

(無回答 6.1)

※**就職氷河期世代**とは、概ね 1993 年~2004 年の期間に学校を卒業し、いわゆるバブル崩壊の影響で企業の業績が悪化し、就職が困難となった期間に就職活動を強いられた世代のことをいいます。

問 44 今後、県はどのような職業能力開発を中心に進めていくとよいと思いますか。 (○は3つまで) (n=1,699) (%)

1 基本的な技術・技能の習得支援	31.3
2 専門的な技術・技能の習得支援	35.6
3 企業実習などによる実践的な技術・技能の習得支援	25.0
4 育児や介護などによる長期離職者向けの技術・技能の習得支援	28.1
5 就職を希望する障がい者向けの技術・技能の習得支援	18.0
6 日本で就職を希望する外国人向けの技術・技能の習得支援	10.5
7 職場で役立つ知識や技術・技能の習得など在职者向け支援	16.2
8 退職後に役立つ資格の取得や技術・技能の習得支援	26.7
9 企業独自の技術・技能を継承するための企業向け支援	8.5
10 職業体験や技術・技能の体験学習を含む小中高生向け支援	20.0
11 その他	1.1
12 特になし	1.6
13 分からない	7.4

(無回答 5.2)

犯罪被害者等への支援

問 45 犯罪被害者等への支援に関する相談機関・窓口について、知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 各警察署の住民相談係	38.1	7 法テラス犯罪被害者支援ダイヤル	10.9
2 県警察総合相談室 (#9110)	12.8	8 神奈川県弁護士会犯罪被害者支援センター	5.4
3 県警察性犯罪110番 (#8103)	9.5	9 各市町村の犯罪被害者等の総合的対応窓口	3.9
4 かながわ犯罪被害者サポートステーション	2.8	10 知っているものはない	43.7
5 ワンストップ支援センター「かならいん」	1.4		(無回答 3.7)
6 ハートライン神奈川	8.3		

問 46 「二次被害」という言葉を知っていますか。

(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 意味を含めて知っている	39.7	3 知らなかった	13.7
2 言葉は聞いたことがある	42.6		(無回答 3.9)

「二次被害」とは、犯罪等で直接的に受けた一次被害の後に、周囲からの理解に欠ける言動や配慮に欠ける対応、さらには、誹謗中傷等^{ひぼうちゆうしょう}によって生じる、精神的な苦痛、身体の不調、プライバシーの侵害などをいいます。

問 47 「二次被害」を生じさせる可能性が高いと思うものはどれですか。

(○はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 早く忘れるよう励ます	14.6	6 被害者に事件のことを話すよう促す	27.0
2 被害者をできる限り一人にしておく	18.1	7 報道機関が執拗な取材をする	71.7
3 学校や職場、地域で被害者の話を広める	65.9	8 その他	0.8
4 被害者の情報をSNSなどに書き込む	77.5	9 「二次被害」に該当するものはない	0.2
5 捜査で被害者の話を聞くのに取調室を使う	14.6	10 分からない	8.0
			(無回答 2.7)

問 48 「二次被害」を防止するために効果的だと思う取組みは何ですか。

(○は3つまで) (n=1,699) (%)

1 犯罪被害者本人に語っていただく講演会	11.0	7 街頭キャンペーン	3.6
2 学校などでの教育や研修	53.4	8 弁護士による相談の充実	35.4
3 行政職員や警察職員などに向けた研修	31.4	9 電話相談窓口の開設	30.8
4 パンフレットなど広報物の作成	5.7	10 その他	2.8
5 県ホームページでの情報発信	4.4	11 分からない	12.9
6 SNSによる広報	15.2		(無回答 5.4)

問 49 あなたやあなたの大切な人が性犯罪や性暴力の被害者となった場合、最初にどこへ相談しようと思いますか。

(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 警察	59.7	5 学校や職場	0.4
2 ワンストップ支援センター「かならいん」	4.0	6 どこにも(誰にも)相談しない	1.2
3 医療機関(産婦人科)	13.1	7 その他	0.8
4 弁護士	6.4	8 分からない	10.4
			(無回答 3.9)

治安対策

問 50 不安を感じる身近な犯罪は何ですか。

(〇はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 ひったくり	27.1	9 自転車やオートバイの盗難	18.4
2 特殊詐欺	53.6	10 自動車の盗難	14.7
3 悪質な客引き	8.5	11 コンピュータへの不正アクセス	50.9
4 空き巣	47.6	12 インターネットを利用した犯罪 (詐欺、ネットポルノ、児童買春など)	44.0
5 子どもの誘拐や子どもへのいたづら	42.9	13 大麻、覚醒剤などの薬物犯罪	13.4
6 痴漢や強制わいせつなどの性犯罪	32.3	14 その他	1.5
7 ストーカー行為	23.0	15 特にない	2.4
8 暴行や傷害	30.5		(無回答 1.5)

問 51 身近な治安に関して、最も安心感を抱くときはどのようなときですか。(〇は1つ) (n=1,699) (%)

1 身近な事件、事故が解決したとき	32.0	4 制服警察官がパトロールしているとき	28.2
2 凶悪事件が解決したとき	8.1	5 警察官が相談に乗ってくれたとき	6.1
3 交番や駐在所に警察官がいるとき	15.5	6 その他	1.7
			(無回答 8.4)

問 52 地域犯罪発生情報や防犯に役立つ情報について、得やすいのはどのような方法ですか。

(〇はいくつでも) (n=1,699) (%)

1 テレビ	49.0	8 インターネット(警察のホームページ、Twitter、 「Yahoo!防災速報」、神奈川県警察公式 YouTube 防犯 チャンネルなど)	39.1
2 ラジオ	6.2	9 警察からのメール	8.4
3 新聞	13.6	10 警察官の防犯講話・防犯教室	1.1
4 ポスター・チラシなど	6.7	11 警察官の戸別訪問	3.8
5 回覧板	14.9	12 その他	0.6
6 防災無線	10.1		(無回答 21.7)
7 駅前などでのキャンペーン	2.8		

問 53 犯罪がなく、より安心してくらすために最も重要だと思うものは何ですか。

(〇は1つ) (n=1,699) (%)

1 地域住民同士のつながり	29.4	5 防犯ボランティアによる防犯活動	1.5
2 官民一体となった防犯活動	15.7	6 その他	0.9
3 防犯カメラなどの防犯設備の整備	36.8	7 特にない	1.1
4 規範意識を高める教育	6.8		(無回答 8.0)

問 54 交通事故のない社会を目指すために、重要だと思うものは何ですか。

(〇は3つまで) (n=1,699) (%)

1 白バイやパトカーによる警戒	43.3
2 交通安全施設の整備(信号機、道路標識・標示など)	47.3
3 制服警察官による街頭活動(交通指導取締り、検問など)	28.6
4 交通違反等の厳罰化	42.1
5 交通安全教室・講習	18.0
6 交通安全に関する広報・キャンペーン	12.5
7 ボランティアなどによる街頭活動(交差点での見守りなど)	9.8
8 その他	3.6
9 特にない	2.8

(無回答 5.0)

ねんりんピックかながわ

問 55 第 34 回全国健康福祉祭(ねんりんピックかながわ)は、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市などの主催で、2022 年に神奈川県内で初めて開催しますが、このことを知っていますか。(〇は1つ)

(n=1,699) (%)

1 知っている	4.6	2 知らなかった	91.0	(無回答 4.4)
---------	-----	----------	------	-----------

全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、主に 60 歳以上の高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、1988 年から毎年各都道府県持ち回りで開催されています。

問 56 「ねんりんピックかながわ」において、競技を観戦したいと思いますか。

(〇は1つ) (n=1,699) (%)

1 観戦したい	3.5	3 どちらかといえば観戦したくない	39.4
2 どちらかといえば観戦したい	20.8	4 観戦したくない	30.9

(無回答 5.4)

ねんりんピックかながわでは、卓球、テニス、水泳など 32 種目を県内 26 市町で開催します。また、その他の市町村でも協賛イベント等が開催されます。

・会場地、開催種目について詳しく知りたい場合は、下記のHPを御覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0805/nenrin/game.html>

問 57 「ねんりんピックかながわ」において、イベントに参加したいと思いますか。

(〇は1つ) (n=1,699) (%)

1 参加したい	2.9	3 どちらかといえば参加したくない	36.3
2 どちらかといえば参加したい	15.1	4 参加したくない	39.8

(無回答 5.8)

ねんりんピックかながわでは、健康・運動に関することや、食生活についての紹介・指導を行う「健康フェア」、高齢者が創作した美術品を展示する「美術展」、高齢者の健康・生きがいに関する「シンポジウム」等、健康や福祉に関する多彩なイベントを開催します。

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(同居、別居は問いません。)

(○はあてはまるものすべて) (n=1,699) (%)

1 小学校入学前	9.9	5 短大、専門学校等在学中	1.5	9 その他	1.6
2 小学校在学中	13.1	6 大学、大学院等在学中	7.3	10 子どもはいない	28.6
3 中学校在学中	8.6	7 学校教育終了[未婚]	23.3		
4 高校在学中	8.1	8 学校教育終了[既婚]	24.1		(無回答 2.5)

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。(○は1つ) (n=1,699) (%)

1 一人暮らし(単身世帯)	12.3	4 祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	6.4
2 夫婦のみ(1世代世帯)	25.7	5 その他の世帯	3.6
3 親と子の世帯(2世代世帯)	49.7		(無回答 2.2)

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。

また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,699) (%)

(n=1,163) (%)

1 自営業主	6.9	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア 農林水産業	0.8
2 家族従業者 (家業手伝い)	1.3		イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営)	5.4
3 勤め (フルタイム)	41.4	エ～ケから 1つ選んで ください。	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	5.1
4 勤め (パートタイム)	18.5		エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	7.8
5 内職	0.3		オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など)	19.3
6 主婦・主夫 (勤めていない)	14.1		カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	23.3
7 学生	0.9		キ 教育職(教諭、保育士など)	5.6
8 無職	13.4		ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など)	8.7
9 その他	0.4		ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員)	20.2
	(無回答 2.8)			(無回答 3.8)

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、10月5日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

173人(10.2%)から自由意見が寄せられました。